

春リーグ入れ替え戦 6月3日

# 自治医科大学 vs 東京医科歯科

## 大

1 - 0  
0 - 0  
1 - 0

春リーグ三部への入れ替え戦は埼玉医科大学での試合だった。天気は晴天で、カンカンと照った日差しが両チームに日焼け止めを出させていた。スターティングメンバーは、ゴールキーパーに石井、ディフェンスラインは左から斎藤、内田、長谷川、菅原。ボランチに伊藤。二列目は左から志田、大西、甲斐。ツートップに山元、穂崎。勝てば三部への昇格。自治医科大学はこの一戦に命を懸けていた。

前半8分、志田のシュートがゴールの外側のネットを揺らす惜しい場面があり、ゴールではなかったものの、会場がどよめいた。それから27分の内田のフリーキック、28分の志田のボレーシュート、29分の志田のポスト直撃のミドルシュートと立て続けに入ってもおかしくないようなシュートを自治医イレブンが相手にお見舞いした。ゴールの匂いしかなかった。しかし、33分、相手のクロスからのヘッドが自治のバーに当たり、そのこぼれ球を相手が打つという、どこからか悲鳴が聞こえるような危ないシーンがあった。だが、自治医科大学の守護神である石井のジャンピングパンチによるファインセーブによってこの相手の死に物狂いの攻撃を防いだ。最後は危ないシーンがあったが、前半は確実に自治医イレブンが主導権を握っていた。しかし、得点がない。後半に期待したい。

後半が始まった。自治医イレブンと相手との一進一退の攻防がしばらく続いた。そして後半23分、会場全員が待ち望んでいたゴールが。後半途中出場の一年の大塚が交代早々きめたのだ。彼が謝りながら明後日の方向に蹴り上げたクロスボールがなんと相手のゴールネットを揺らしたのだ。待望の瞬間だった。自治医サイドは大いに盛り上がった。それからは相手の必死の追撃を受けたが、自治イレブンは決してひるむことはなく、この試合は終わった。

こうして1-0で対東京医科歯科戦を終え、春リーグが幕を閉じた。今日までのチーム一丸の練習が実を結んだに違いない。3部昇格はこれからの有意義になるで

あろう 2 週間の休暇後の練習の勢いにつながるはずだ。今日をきっかけに自治医科大学サッカー部はますます強くなっていくだろう。